

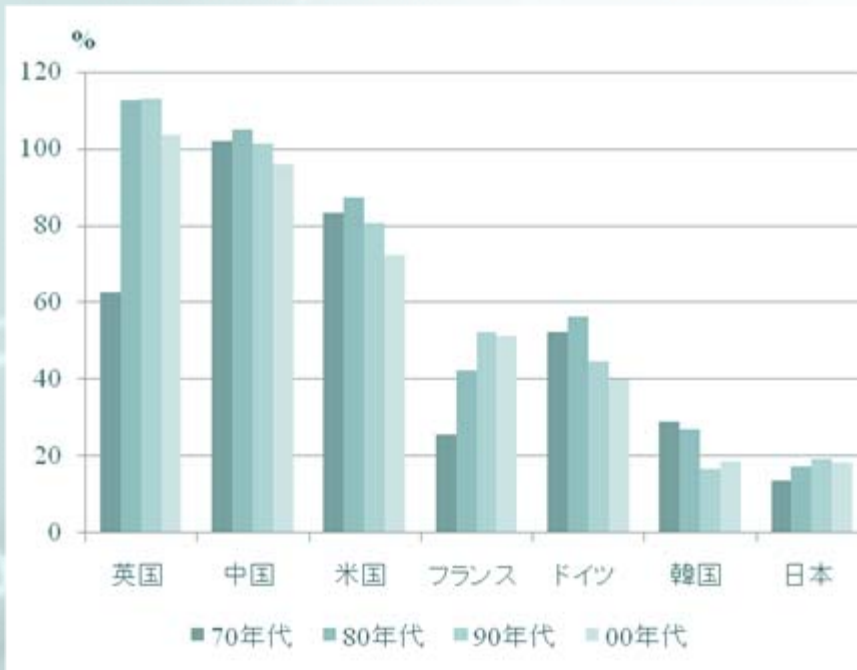


未来を担う若者が夢を抱けるには

高知大学 教育研究部 自然科学系理学部門
准教授 金野大助

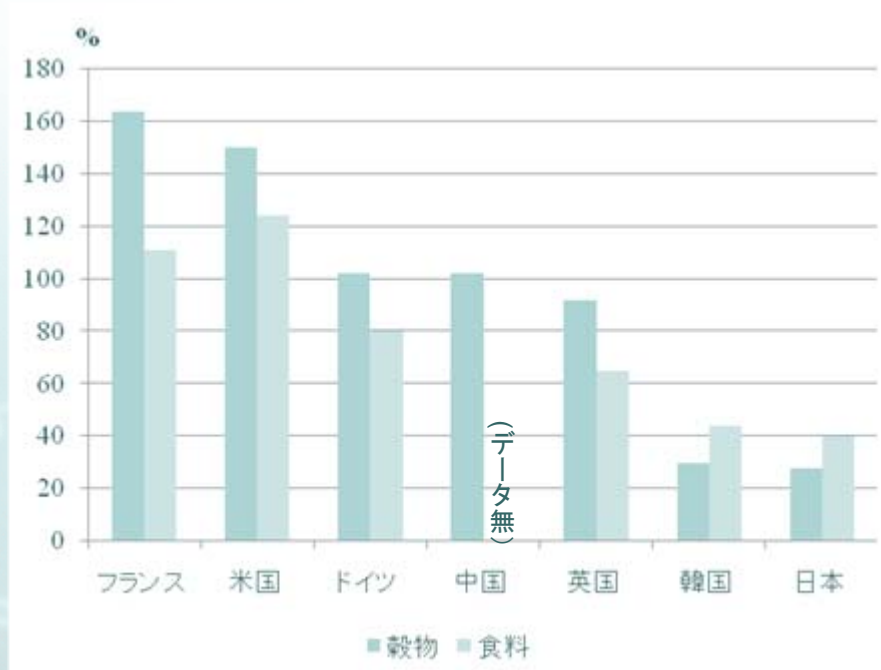
日本には物質的資源がない！

各国の一次エネルギー自給率



出典：経済産業省 資源エネルギー庁
「エネルギー白書2010」

諸外国の穀物・食料自給率



出典：農林水産省
「平成21年度食料需給表」

日本には人的資源がある！

人口 (2009)

順位	国名	人口(100万人)
1	中国	1,346
2	インド	1,198
3	アメリカ合衆国	315
4	インドネシア	230
5	ブラジル	194
6	パキスタン	181
7	バングラデシュ	162
8	ナイジェリア	155
9	ロシア	141
10	日本	127

GDP (2008)

順位	国名	GDP(100万US\$)
1	アメリカ合衆国	14,096,717
2	日本	4,899,740
3	中国	4,327,024
4	ドイツ	3,649,469
5	フランス	2,856,529
6	イギリス	2,666,266
7	イタリア	2,303,059
8	ロシア	1,676,588
9	スペイン	1,604,224
10	ブラジル	1,595,498

出典：統計局「世界の統計2010」

日本が発展していくためには、人と技術を育てていくことが必要不可欠

教育と研究

➡ 大学が果たすべき役割

大学に期待されること

(=大学に課されていること)

- ・次の世代を担う人材の教育
- ・未来に生きる科学技術発展のための研究

そのためには

教育環境・研究環境の充実が必要不可欠

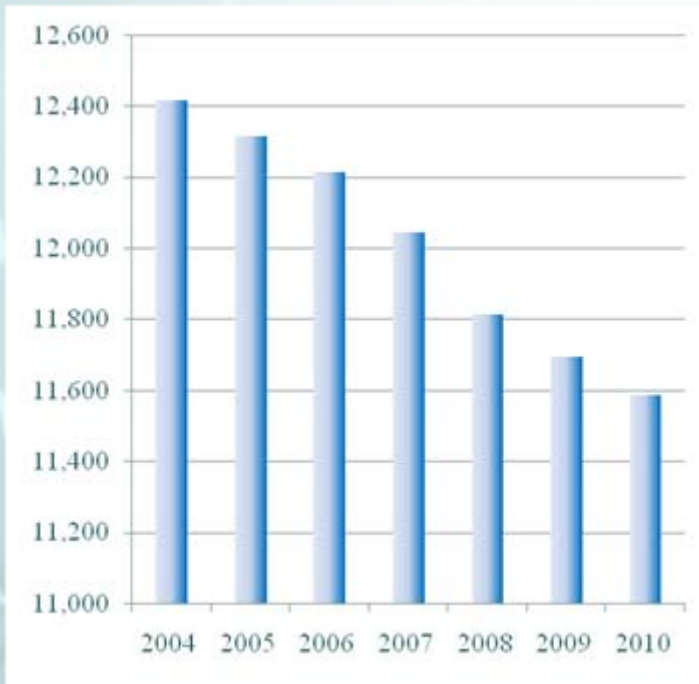
- 我が国の未来を担う若者が夢を抱いて科学の道を選べるような教育環境を整備
- 世界中から優れた研究者を惹きつける研究環境の整備

「新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)より」

国立大学法人の現状

国立大学法人の運営費交付金

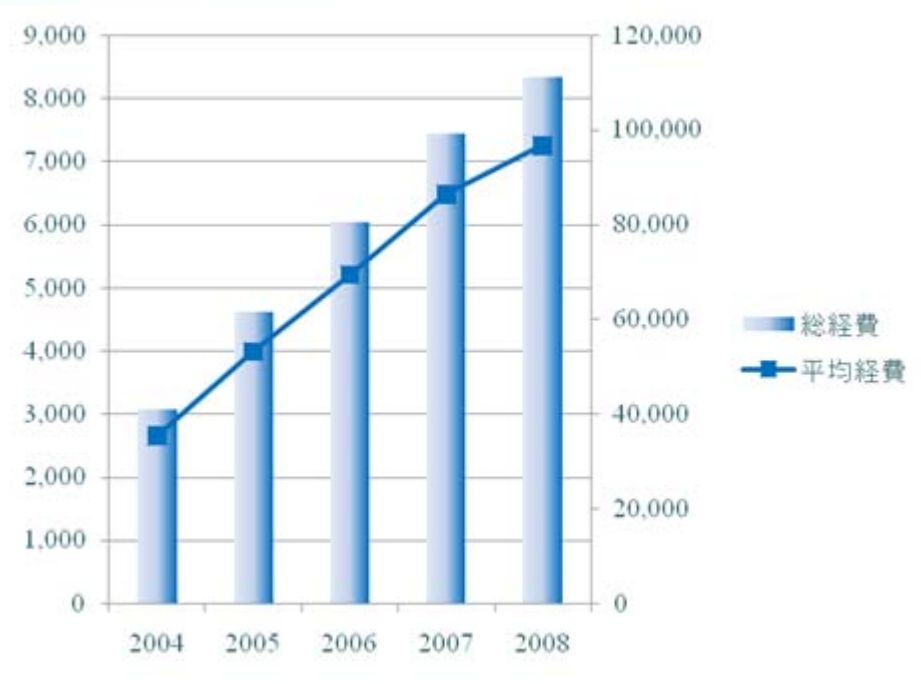
(億円)



国立大学法人の電子ジャーナル購読経費

百万円

千円



- ・大学の基盤となるべき経費は右肩下がり
- ・研究の運営・環境維持に必要な経費はほぼ不変(場合によっては増加)

研究・教育環境は、むしろ悪化の一途

若手研究者をとりまく環境

次世代の教育・研究を担うべき若手研究者は
早い段階で十分にスキルアップする必要あり

しかし・・・

- ・運営費交付金減少に伴う人件費削減の影響

- ・担当講義の増加
- ・事務処理作業の増加

➡ 研究に十分な時間を確保しづらくなってきている

- ・運営費交付金減少に伴う教育・研究経費減少の影響

- ・学生実験・学生実習の費用不足による教育内容の停滞・後退
- ・独自研究に必要な経費が不足

➡ 研究者として独立しづらくなってきている

研究は競争的資金でとはいうものの・・・

若手研究者の科研費新規採択率

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
25歳～29歳	20.7%	22.3%	20.8%
30歳～34歳	25.5%	26.0%	24.9%
35歳～39歳	23.7%	24.0%	23.2%
全年代	21.3%	22.1%	20.3%

次世代の教育・研究を担う若手研究者

➡ **これから** 経験・実績を積んでいく必要がある

しかし・・・

駆け出しの研究者で科研費を得ることができるのは、4～5人に1人だけ
多くの若手研究者は運営費交付金に頼らざるを得ない・・・こちらも不十分

いきなり試練にさらされる

大学が本来の役割を果たすためには

- ・安定した大学運営のための基盤的経費の拡充
- ・人材育成のための教育・研究環境の維持・整備費の拡充
- ・競争的研究経費の拡充